

大学等で基礎資格と単位を修得し、小学校教諭免許状を取得したい方

免許状の種類

- 小学校教諭免許状（専修、1種、2種）

根拠規定

- 免許法別表第1

取得方法

- 大学等で基礎資格と単位を修得し、小学校教諭免許状を取得する方法は、
〈表9〉のとおりです。

		取得しようとする免許状		専修	1種	2種
所資	要 格	基 礎 資 格		修 士	学 士	短期大学士
		最低修得単位数の合計 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)+(オ)+(カ)		83単位	59単位	37単位
第1欄	欄	科 目	含めることが必要な事項			
		第2欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	1科目以上 （注）の7参照 10教科について各1単位以上 （注）の8参照	1科目以上 （注）の7参照 10教科について各1単位以上 （注）の8参照
			最低修得単位数（ア）	30単位	30単位	16単位
	第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	左の事項をすべて含むこと	左の事項をすべて含むこと	左の事項をすべて含むこと
			教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	1単位	1単位	1単位
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	左の事項をすべて含むこと	左の事項をすべて含むこと	左の事項をすべて含むこと
			最低修得単位数（イ）	10単位	10単位	6単位
	第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	2単位	2単位	1単位
総合的な学習の時間の指導法			左の事項をすべて含むこと	左の事項をすべて含むこと	左の事項をすべて含むこと	
特別活動の指導法						
教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）						
生徒指導の理論及び方法						
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法						
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
		最低修得単位数（ウ）	10単位	10単位	6単位	
第5欄	教育実践に関する科目	教育実習	5単位	5単位	5単位	
		教職実践演習	2単位	2単位	2単位	
		最低修得単位数（エ）				
		最低修得単位数（オ）				
第6欄	大学が独自に設定する科目		26単位	2単位	2単位	
		最低修得単位数（カ）				

(注)

- 1 <表9>の科目の単位は、小学校の認定課程を有する大学等の課程で修得しなければなりません。
- 2 <表9>の単位のほか、免許法施行規則第66条の6に定める次の科目の単位を、大学又は文部科学大臣の指定する教員養成機関において修得する必要があります。

免許法施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数
日本国憲法	2単位
体育	2単位
外国語コミュニケーション	2単位
情報機器の操作	2単位

- 3 「修士の学位を有すること」には、大学（短期大学を除く。）の専攻科又は文部科学大臣の指定するこれに相当する課程に1年以上在学し、30単位以上修得した場合を含みます。
- 4 「学士の学位を有すること」には、文部科学大臣がこれと同等以上の資格を有すると認めた場合を含みます。
- 5 「短期大学士の学位を有すること」には、大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した場合（短期大学士の学位を有する場合を除く。）を含みます。
- 6 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」に「教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）」の内容を含む場合には、「教育の基礎的理解に関する科目」に「教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）」を含む必要はありません。
- 7 「教科に関する専門的事項」の単位修得方法は、国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育及び外国語（英語、ドイツ語、フランス語その他の各外国語に分ける。）の教科に関する専門的事項を含む科目のうち、1以上の科目について修得してください。
- 8 「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の単位修得方法は、国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育及び外国語（英語、ドイツ語、フランス語その他の各外国語に分ける。）の教科の指導法を、以下のとおり修得してください。
 - (1) 専修免許状又は1種免許状：10教科について、それぞれ1単位以上
 - (2) 2種免許状：6教科（音楽、図画工作又は体育のうち2教科以上を含むこと。）について、それぞれ1単位以上
- 9 「教育実習」の単位は、小学校（義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部を含む。）、幼稚園（特別支援学校の幼稚部を含む。）、中学校（義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。）、及び幼保連携型認定こども園の教育を中心とするものとします。
- 10 「教育実習」の単位数には、教育実習に係る事前及び事後の指導（授与を受けようとする普通免許状に係る学校以外の学校、専修学校、社会教育に関する施設、社会福祉施設、児童自立支援施設及びボランティア団体における教育実習に準ずる経験を含むことができる。）の1単位を含んでください。
- 11 「教育実習」の単位には、2単位まで、学校体験活動の単位を含むことができます。ただし、この場合において「教育実習」に他の学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の「教育実習」の単位をあてることができません。（(注)の13関係）
- 12 「教育実習」の単位は、幼稚園（特別支援学校の幼稚部を含む。）、小学校（義務教育学校の前期課程、特別支援学校の小学部を含む。）又は幼保連携型認定こども園の教員（当該校種の臨時免許状を有すること。）として、1年以上良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する者は、1年1単位の割合で「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」若しくは「教育実践に関する科目」の単位を、これに替えることができます。

※ 非常勤講師の期間を有する者は、個別に通算できる期間が異なるため、群馬県教育委員会で確認をしてください。
- 13 幼稚園、中学校又は高等学校教諭免許状を所持する者は、当該免許状を取得するために修得した以下の科目を、小学校教諭免許状取得のためのそれぞれの単位にあてることができます。

- (1) 「教育の基礎的理解に関する科目」・・・・・・・・・・ 8 単位（6 単位）まで
ただし、（注）14を適用した場合は、その単位を含めることができない。
 - (2) 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、
教育相談等に関する科目」・・・・・・・・・・ 2 単位まで
ただし、（注）14を適用した場合は、その単位を含めることができない。
 - (3) 「教育実習」・・・・・・・・・・ 3 単位まで
 - (4) 「教職実践演習」・・・・・・・・・・ 2 単位まで
- ※ （ ）内は 2 種免許状の授与を受ける場合の単位数

14 以下の科目については、幼稚園教諭の普通免許状取得のための単位を、小学校教諭免許状の単位にあてることができます。

「教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）」並びに「教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）」・・・ 2 単位（1 単位）まで

※ （ ）内は 2 種免許状の授与を受ける場合の単位数

15 幼稚園教諭免許状を所持する者は、当該免許状を取得するために修得した「保育内容の指導法」の単位を、小学校教諭免許状取得のためのそれぞれの単位にあてることができる。

- (1) 「生活の教科の指導法」・・・・・・・・・・ 2 単位まで
- (2) 「特別活動の指導法」・・・・・・・・・・ 1 単位まで

16 小学校又は中学校教諭免許状を取得する場合には、特別支援学校又は社会福祉施設における 7 日間の介護等体験を必要とします。